

一般社団法人 日本応用数理学会

2020（令和2）年度定時社員総会

日時：2020（令和2）年6月26日（金）15:00 ～ 16:30

会場：学会センタービル会議室

議事：

- 第1号議案
2019（令和元）年度事業報告の件
- 第2号議案
2019（令和元）年度決算の件
2019（令和元）年度監査報告
- 第3号議案 役員選任の件
（報告事項：選挙結果，任期満了）
理事候補者
今関修，荻田武史，梶原健司，齊藤宣一，佐藤大輔，
田辺隆人，永井敦，森山園子，山中脩也
監事候補者
尊田嘉之
- 第4号議案
2020（令和2）年度事業計画の件
- 第5号議案
2020（令和2）年度予算の件

終了後：

新フェロー・2019年度業績賞・2019年度年会若手優秀講演賞・2020年研究部会連合発表
会優秀講演賞 報告

一般社団法人日本応用数理学会 2019（令和元）年度事業報告

本学会は2019（令和元）年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）下記のとおり事業を行った。

1. 会誌「応用数理」の刊行
Vol. 29 No. 2（6月）、No. 3（9月）、No. 4（12月）
Vol. 30 No. 1（3月）の4号を発刊した。
Vol. 29（No.1- No.4）総頁数、192頁[192].
2. JSIAM Online Magazine の編集・公開
3. 「日本応用数理学会論文誌」の刊行
Vol. 29 No. 2（6月）、No. 3（9月）、No. 4（12月）
Vol. 30 No. 1（3月）の4号を電子版としてJ-STAGEで公開した。
Vol. 29（No.1- No.4）総頁数、407頁[241].
4. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集（年3回発刊）
5. JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行
Vol. 11（20篇）をJ-STAGEで公開。
6. 出版
シリーズ応用数理 第7巻の出版準備
7. 年会の開催
令和元年9月3日～5日、東京大学 駒場キャンパスにて第29回年会を開催し、544名[515]の参加を得て盛会裡に終了した。（総合講演2件[2]，オーガナイズドセッションおよび一般講演263件[260]，計265件[262]，ポスターセッション24件[28]）
8. 研究部会の育成促進（次頁の研究部会一覧を参照）
今年度は20研究部会の活動推進が行われ、1研究部会準備会の活動が認められた。研究部会連合発表会が3月4日～5日、中央大学で開催し238名[309]の参加の予定であったが中止となった。
9. 各種委員会活動の推進
国際活動委員会、ネットワーク委員会等の諸活動が精力的に進められた。
10. 海外の応用数理学会との交流
ICIAM2023 の開催に向けた準備活動を進めている。
International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)のメンバー学会。
オーストラリア数学会(AustMS) S I A Mとは相互協定を締結している。
11. 他学会等との交流
日本数学会、統計関連学会連合とは懇談会を開催し、マスタープラン提案等で連携している。
日本数学会とは年会の総合講演者を相互招待し、社会連携協議会へ委員を派遣している。
日本シミュレーション学会、日本計算工学会とは密接な情報交換を行った。
横断型基幹科学技術研究団体連合、学術会議計算力学小委員会、日本計算力学連合(JACM)、HPCI コンソーシアム、理数系教育問題連絡会、男女共同参画協会連絡会のメンバー学会。
12. 会員・賛助会員の現状
会員数は1581名[1578]になった。（令和2年3月末現在）
（入会84名（正55，学29），退会81名（正63，学18），種別変更（学→正6名）
名誉会員0名を推挙した。
賛助会員は26社[24] 49口[47]となった。
13. 表彰（フェロー、業績賞、論文賞、ベストオーサー賞、年会若手優秀講演賞、年会優秀ポスター賞、研究部会連合発表会優秀講演賞）

第13期フェローとして5名を決定した。

業績賞理論分野1件[0]，応用分野0件[0]を選考した。

論文賞7編(和文3，JJIAM2，JSIAM Letters2)[6]，ベストオーサー賞2編[2]の論文に対し，年会の席上で表彰を行った。年会で若手優秀講演賞5名[4]，優秀ポスター賞3件[最優秀1，優秀4]を選考した。

14. 若手層・女性研究者との連携強化

年会において若手・女性研究者ランチミーティングを開催した。

男女共同参画学協会連絡会女子中高生理系選択支援ワーキンググループによる「女子中高生夏の学校」に企画委員およびポスター展示・キャリア相談担当として参加として理事が参加し，ポスター展示を行った。

15. 産業界・社会との交流促進

応用数理ものづくり研究会技術セミナー(第六期3回講演)を開催し19社[21]の参加を得た。

16. 協賛等

外部学協会等と42件[41]の協力関係を結んだ。

17. 数理科学振興の政策課題の検討

18. その他

稲盛財団からの寄附金により，国際的に活動する女性研究者を支援するために，稲盛財団基金積立金を設立し運用している。

大阪大学が厚生労働省から委託された教育訓練プログラム開発事業「データサイエンス利活用教育訓練プログラムの開発」からの再委託業務として，教材開発に協力した。

備考：[]は，2018年度実績

日本応用数理学会 研究部会一覧

「ウェーブレット」研究部会

「応用カオス」研究部会

「応用可積分系」研究部会

「折紙工学」研究部会

「科学技術計算と数値解析」研究部会

「機械学習」研究部会

「行列・固有値問題の解法とその応用」研究部会

「計算の品質」研究部会

「産業における応用数理」研究部会

「数理医学」研究部会

「数理政治学」研究部会

「数理設計」研究部会

「数理的技法による情報セキュリティ」研究部会

「数理ファイナンス」研究部会

「数論アルゴリズムとその応用」研究部会

「CAEモデリングとデータ活用」研究部会

「離散システム」研究部会

「連続体力学の数理」研究部会

「若手の会」研究部会

「環瀬戸内応用数理」研究部会(地域研究部会)

「幾何学的形状生成」研究部会準備会

以上

2019年度決算報告

2019年4月1日～2020年3月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	2019予算	2019決算	2018決算(参考)	備考
1. 会費・入会金収入	18,902,500	18,474,150	18,530,750	
正会員会費	16,000,000	15,435,150	15,595,250	
学生会員会費	500,000	528,000	506,000	
入会金	40,000	61,000	67,000	
賛助会費	2,362,500	2,450,000	2,362,500	
2. 事業収入	4,667,500	7,028,728	12,413,332	
応用数理編集料	216,000	219,000	216,000	
論文誌掲載料	600,000	560,000	480,000	*1
JSIAM-Letters収入	0	0	0	
年会収入	2,500,000	3,187,500	3,114,000	
セミナー収入	600,000	570,000	630,000	
研究部会収入	600,000	503,000	734,000	
寄付金収入(委託事業費)	0	550,000	6,965,333	
雑収入	151,500	1,439,228	273,999	
当期収入合計(A)	23,570,000	25,502,878	30,944,082	
前期繰越金	10,654,638	10,654,638	10,940,927	
国際交流事業へ振替		-1,000,000		
過年度繰越金差額		2,067,866		*2
収入合計(B)	34,224,638	37,225,382	41,885,009	

*1 29巻2号～30巻1号(14件)

*2 法人化以前に発生

2019年度決算報告つづき

2019年4月1日～2020年3月31日

Ⅱ 支出の部

(単位:円)

科目	2019予算	2019決算	2018決算(参考)	備考
I. 事業費支出	4,569,000	3,327,622	3,630,467	
応用数理刊行事業費	237,000	216,200	222,400	
印刷製本費+委託費	200,000	196,200	194,400	
会議費	35,000	20,000	28,000	
雑費	2,000	0	0	
論文誌刊行事業費	422,000	354,519	335,959	
委託費	400,000	354,519	335,959	
会議費	20,000	0	0	
雑費	2,000	0	0	
JSIAM Letters刊行事業費	110,000	79,700	80,760	
会議費	60,000	28,000	30,000	
委託費	50,000	51,700	50,760	
年会事業費	2,500,000	2,264,386	1,947,030	
印刷製本費		347,473	292,549	
通信運搬費		0	6,382	
会議費		965,819	656,856	
其他人件費		342,000	301,000	
旅費交通費		7,640	57,219	(2018は消耗品費)
会場費		288,000	270,470	
雑費		313,454	362,554	
セミナー事業費	500,000	174,689	430,178	
其他人件費		0	0	
会議費		0	40,000	
旅費交通費		45,056	116,560	
会場費		29,400	88,200	
講師謝礼金		100,233	175,918	
雑費		0	9,500	
研究部会事業費	800,000	238,128	614,140	
其他人件費		42,274	48,000	
会議費		53,922	100,981	
旅費交通費		9,828	30,000	(2018は諸謝金)
印刷製本費		25,200	0	
会場費		25,344	423,315	
通信運搬費		53,640	7,156	
雑費		27,920	4,688	
Ⅱ. 管理費支出	18,582,208	18,268,973	18,174,451	
給料手当	3,450,000	3,095,260	3,349,000	
応用数理購入費	5,875,200	5,929,600	5,875,200	
JJIAM購入費	300,000	270,000	288,000	
活動促進費	150,000	77,682	94,686	男女共同参画等
関連団体等会費	150,000	154,198	136,413	
保守費	500,000	865,055	460,345	会員システム利用料等
事務委託費	4,500,000	4,497,513	4,425,323	
委託費	3,000,000	3,047,929	2,973,349	
印刷製本費	500,000	501,862	496,130	
通信運搬費	1,000,000	947,722	955,844	
会議費	200,000	94,499	166,880	
事務局運営費	3,257,008	3,107,166	3,097,304	
賃借料	1,747,008	1,782,984	1,774,548	
福利厚生費	30,000	10,174	11,079	
旅費交通費	500,000	349,360	493,480	
通信運搬費	300,000	197,443	219,646	
什器/備品費	200,000	0	139,793	
北一機リース料金	180,000	174,799	172,368	
消耗品費	150,000	132,915	111,812	
雑費	150,000	459,491	174,578	
法人関連経費	200,000	178,000	281,300	
当期支出合計(C)	23,151,208	21,596,595	21,804,918	
当期収支差額(A-C)	418,792	3,906,283	9,139,164	
国際交流事業剰余金へ振替		-730,073		
稲盛財団基金剰余金へ振替		-255		
次期繰越金(B-C)	11,073,430	14,898,459	20,080,091	

稲盛財団基金

入金日	内 容	収入	支出	残高
2019/1/10	入金	3,000,000		
2019/2/18	預金利息	1		3,000,001
2020/2/1	預金利息	255		3,000,256

国際交流事業積立金

入金日	内 容	収入	支出	残高
	前年度から繰り越し	1,460,108		
2018/8/20	預金利息	6		
2018/12/17	預金利息	4		
2019/2/18	預金利息	2		
2019/3/13	SIAM PP'18から寄付	6,965,333		
2019/5/14	2018年度収支差額から	1,000,000		9,425,453
2019/5/15	ICIAMロゴ製作費		270000	9,155,453
2019/8/19	預金利息	34		
2020/2/17	預金利息	39		9,155,526

大阪大学委託事業

出入金日	内 容	収入	支出	残高
2019/9/30	入金	540,000		
2019/9/5	研究部会セッション運営人件費		230000	
2019/9/11	研究部会セッション会場費		288000	
2019/9/11	研究部会連絡会会議費		32000	
2019/12/27	入金	10,000		0

残 高 試 算 表 (月 次 ・ 期 間)

1 頁

貸借対照表 資産の部

事業所(合計)

一般社団法人 日本応用数学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位: 円

勘 定 科 目	前 期 繰 越	期 間 借 方	期 間 貸 方	当 期 残 高	構 成 比
現 金	17,550	2,571,790	2,578,484	10,856	0.02
通常みずほ銀行根津	14,074,004	23,995,188	25,658,146	12,411,046	23.04
会費みずほ銀行麹町	1,160,886	5,207,666	4,727,540	1,641,012	3.05
三菱東京UFJ銀行	237,644	849	0	238,493	0.44
三井住友銀行	179,778	847	0	180,625	0.34
ゆうちょ銀行	5,307,907	11,690,000	10,650,880	6,347,027	11.78
現金・預金合計	20,977,769	43,466,340	43,615,050	20,829,059	38.67
未収金 論文誌別刷	280,000	560,000	760,000	80,000	0.15
未 収 金	221,000	56,000	221,000	56,000	0.10
立 替 金	270,000	0	270,000	0	0.00
他流動資産合計	771,000	616,000	1,251,000	136,000	0.25
流動資産合計	21,748,769	44,082,340	44,866,050	20,965,059	38.92
基本財産 三菱UFJ	10,000,000	0	0	10,000,000	18.56
基本財産 三井住友	10,000,000	0	0	10,000,000	18.56
基 本 財 産 計	20,000,000	0	0	20,000,000	37.13
国際交流事業積立 みずほ	8,425,453	1,000,073	270,000	9,155,526	17.00
稲盛財団基金 三菱UFJ	3,000,001	255	0	3,000,256	5.57
特 定 資 産 計	11,425,454	1,000,328	270,000	12,155,782	22.57
敷 金	748,000	0	0	748,000	1.39
投資その他の資産合計	748,000	0	0	748,000	1.39
固 定 資 産 合 計	32,173,454	1,000,328	270,000	32,903,782	61.08
複 合	0	122,507	122,507	0	0.00
資 産 合 計	53,922,223	45,082,668	45,136,050	53,868,841	100.00

残高試算表（月次・期間）

2 頁

貸借対照表 負債の部・純資産の部

事業所(合計)

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	構成比
未払金	4,134,265	4,134,265	909,100	909,100	1.69
前受金	5,640,000	5,640,000	5,901,000	5,901,000	10.95
預り金	0	12,507	12,507	0	0.00
仮受金	0	0	4,500	4,500	0.01
他流動負債合計	9,774,265	9,786,772	6,827,107	6,814,600	12.65
流動負債合計	9,774,265	9,786,772	6,827,107	6,814,600	12.65
負債合計	9,774,265	9,786,772	6,827,107	6,814,600	12.65
基本財産	20,000,000	0	0	20,000,000	37.13
基本財産合計	20,000,000	0	0	20,000,000	37.13
国際交流事業剰余金	8,425,453	0	730,073	9,155,526	17.00
稲盛財団基金積立剰余金	3,000,001	0	255	3,000,256	5.57
剰余金合計	11,425,454	0	730,328	12,155,782	22.57
基本財産剰余金合計	11,425,454	0	730,328	12,155,782	22.57
前期繰越金	12,722,504	12,722,504	11,722,504	11,722,504	21.76
当期収支差額額	0		3,175,955	3,175,955	5.90
次期繰越金合計	12,722,504	12,722,504	14,898,459	14,898,459	27.66
次期繰越金合計	12,722,504	12,722,504	14,898,459	14,898,459	27.66
次期繰越金合計	12,722,504	12,722,504	14,898,459	14,898,459	27.66
基本財産繰越金等合計	44,147,958	12,722,504	15,628,787	47,054,241	87.35
基本財産繰越金等合計	44,147,958	12,722,504	15,628,787	47,054,241	87.35
負債・基本財産等合計	53,922,223	22,509,276	22,455,894	53,868,841	100.00

残高試算表（月次・期間）

1 頁

損益計算書

事業所(合計)

一般社団法人 日本応用数学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
1. 会費・入会金収入	0	6,431,500	24,905,650	18,474,150	72.44
2. 事業収入	0	7,000	5,478,917	5,471,917	21.46
3. 雑収入	0	0	1,006,811	1,006,811	3.95
5. 受託事業	0	0	550,000	550,000	2.16
当期収入合計	0	6,438,500	31,941,378	25,502,878	100.00
前期繰越金収入	0	0	11,722,504	11,722,504	45.97
前期繰越金収入	0	0	11,722,504	11,722,504	45.97
前期繰越金収入	0	0	11,722,504	-11,722,504	-45.97
収入合計	0		37,225,382	37,225,382	145.97
その他人件費	0	342,000	0	342,000	1.34
事業会議費	0	1,067,741	0	1,067,741	4.19
事業旅費交通費	0	62,524	0	62,524	0.25
事業通信運搬費	0	53,640	0	53,640	0.21
印刷製本費	0	407,553	0	407,553	1.60
事業会場費	0	342,744	0	342,744	1.34
諸謝金	0	142,507	0	142,507	0.56
事業委託費	0	567,539	0	567,539	2.23
雑費	0	611,374	0	611,374	2.40
給料手当	0	3,095,260	0	3,095,260	12.14
福利厚生費	0	10,174	0	10,174	0.04
応用数理購入費	0	5,929,600	0	5,929,600	23.25
J J I A M 購入費	0	270,000	0	270,000	1.06
管理会議費	0	94,499	0	94,499	0.37
管理旅費交通費	0	349,360	0	349,360	1.37
管理通信運搬費	0	1,145,165	0	1,145,165	4.49
管理消耗品費	0	132,915	0	132,915	0.52
活動促進費	0	77,682	0	77,682	0.30
印刷費	0	501,862	0	501,862	1.97
関連団体等会費	0	154,198	0	154,198	0.60
賃借料	0	1,782,984	0	1,782,984	6.99
保守費	0	865,055	0	865,055	3.39
法人化関連経費	0	178,000	0	178,000	0.70
管理委託費	0	3,047,929	0	3,047,929	11.95
リース料	0	174,799	0	174,799	0.69
事務局雑費	0	189,491	0	189,491	0.74
当期支出合計	0	21,596,595	0	21,596,595	84.68
次期繰越金合計	0		15,628,787	15,628,787	61.28
次期繰越金合計	0		15,628,787	15,628,787	61.28

残高試算表（月次・期間）

2 頁

損益計算書

事業所(合計)

一般社団法人 日本応用数学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
次期繰越金合計	0		15,628,787	15,628,787	61.28
前期繰越金戻入	0	11,722,504	0	11,722,504	45.97
剰余金への振替	0	730,328	0	730,328	2.86
当期収支差額	0		3,175,955	3,175,955	12.45

残 高 試 算 表 (月 次 ・ 期 間)

1 頁

損益計算書

1応用数理刊行事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘 定 科 目	前 期 繰 越	期 間 借 方	期 間 貸 方	当 期 残 高	対 売 上 比
2 . 事 業 収 入	0	0	263,615	263,615	100.00
当 期 収 入 合 計	0	0	263,615	263,615	100.00
収 入 合 計	0		263,615	263,615	100.00
事 業 会 議 費	0	20,000	0	20,000	7.59
印 刷 製 本 費	0	34,880	0	34,880	13.23
事 業 委 託 費	0	161,320	0	161,320	61.20
当 期 支 出 合 計	0	216,200	0	216,200	82.01
次 期 繰 越 金 合 計	0		47,415	47,415	17.99
次 期 繰 越 金 合 計	0		47,415	47,415	17.99
次 期 繰 越 金 合 計	0		47,415	47,415	17.99
当 期 収 支 差 額	0		47,415	47,415	17.99

残高試算表（月次・期間）

1 頁

損益計算書

2論文誌刊行事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
2. 事業収入	0	0	560,000	560,000	100.00
当期収入合計	0	0	560,000	560,000	100.00
収入合計	0		560,000	560,000	100.00
事業委託費	0	354,519	0	354,519	63.31
当期支出合計	0	354,519	0	354,519	63.31
次期繰越金合計	0		205,481	205,481	36.69
次期繰越金合計	0		205,481	205,481	36.69
次期繰越金合計	0		205,481	205,481	36.69
当期収支差額	0		205,481	205,481	36.69

残 高 試 算 表 (月 次 ・ 期 間)

1 頁

損益計算書

3JSIAMLetters刊行事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘 定 科 目	前 期 繰 越	期 間 借 方	期 間 貸 方	当 期 残 高	対 売 上 比
事 業 会 議 費	0	28,000	0	28,000	0.00
事 業 委 託 費	0	51,700	0	51,700	0.00
当 期 支 出 合 計	0	79,700	0	79,700	0.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		-79,700	-79,700	0.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		-79,700	-79,700	0.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		-79,700	-79,700	0.00
当 期 収 支 差 額	0		-79,700	-79,700	0.00

残高試算表（月次・期間）

1 頁

損益計算書

4年会事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
2. 事業収入	0	7,000	3,194,500	3,187,500	100.00
当期収入合計	0	7,000	3,194,500	3,187,500	100.00
収入合計	0		3,187,500	3,187,500	100.00
その他人件費	0	112,000	0	112,000	3.51
事業会議費	0	965,819	0	965,819	30.30
事業旅費交通費	0	7,640	0	7,640	0.24
印刷製本費	0	347,473	0	347,473	10.90
雑費	0	313,454	0	313,454	9.83
当期支出合計	0	1,746,386	0	1,746,386	54.79
次期繰越金合計	0		1,441,114	1,441,114	45.21
次期繰越金合計	0		1,441,114	1,441,114	45.21
次期繰越金合計	0		1,441,114	1,441,114	45.21
当期収支差額	0		1,441,114	1,441,114	45.21

残高試算表（月次・期間）

1 頁

損益計算書

5セミナー事業

一般社団法人 日本応用数学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
2. 事業収入	0	0	570,000	570,000	100.00
当期収入合計	0	0	570,000	570,000	100.00
収入合計	0		570,000	570,000	100.00
事業旅費交通費	0	45,056	0	45,056	7.90
事業会場費	0	29,400	0	29,400	5.16
諸謝金	0	100,233	0	100,233	17.58
当期支出合計	0	174,689	0	174,689	30.65
次期繰越金合計	0		395,311	395,311	69.35
次期繰越金合計	0		395,311	395,311	69.35
次期繰越金合計	0		395,311	395,311	69.35
当期収支差額	0		395,311	395,311	69.35

残高試算表（月次・期間）

1 頁

損益計算書

6研究部会事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
2. 事業収入	0	0	503,000	503,000	100.00
当期収入合計	0	0	503,000	503,000	100.00
収入合計	0		503,000	503,000	100.00
事業会議費	0	21,922	0	21,922	4.36
事業旅費交通費	0	9,828	0	9,828	1.95
事業通信運搬費	0	53,640	0	53,640	10.66
印刷製本費	0	25,200	0	25,200	5.01
事業会場費	0	25,344	0	25,344	5.04
諸謝金	0	42,274	0	42,274	8.40
雑費	0	27,920	0	27,920	5.55
当期支出合計	0	206,128	0	206,128	40.98
次期繰越金合計	0		296,872	296,872	59.02
次期繰越金合計	0		296,872	296,872	59.02
次期繰越金合計	0		296,872	296,872	59.02
当期収支差額	0		296,872	296,872	59.02

残高試算表（月次・期間）

1 頁

損益計算書

Ⅱ 管理費

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
1. 会費・入会金収入	0	6,431,500	24,905,650	18,474,150	97.91
2. 事業収入	0	0	387,802	387,802	2.06
3. 雑収入	0	0	6,738	6,738	0.04
当期収入合計	0	6,431,500	25,300,190	18,868,690	100.00
収入合計	0		18,868,690	18,868,690	100.00
給料手当	0	3,095,260	0	3,095,260	16.40
福利厚生費	0	10,174	0	10,174	0.05
応用数理購入費	0	5,929,600	0	5,929,600	31.43
J J I A M 購入費	0	270,000	0	270,000	1.43
管理会議費	0	94,499	0	94,499	0.50
管理旅費交通費	0	349,360	0	349,360	1.85
管理通信運搬費	0	1,145,165	0	1,145,165	6.07
管理消耗品費	0	132,915	0	132,915	0.70
活動促進費	0	77,682	0	77,682	0.41
印刷費	0	501,862	0	501,862	2.66
関連団体等会費	0	154,198	0	154,198	0.82
賃借料	0	1,782,984	0	1,782,984	9.45
保守費	0	865,055	0	865,055	4.58
法人化関連経費	0	178,000	0	178,000	0.94
管理委託費	0	3,047,929	0	3,047,929	16.15
リース料	0	174,799	0	174,799	0.93
事務局雑費	0	189,491	0	189,491	1.00
当期支出合計	0	17,998,973	0	17,998,973	95.39
次期繰越金合計	0		869,717	869,717	4.61
次期繰越金合計	0		869,717	869,717	4.61
次期繰越金合計	0		869,717	869,717	4.61
当期収支差額	0		869,717	869,717	4.61

残 高 試 算 表 (月 次 ・ 期 間)

3 頁

損益計算書

Ⅲ国際交流事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位：円

勘 定 科 目	前 期 繰 越	期 間 借 方	期 間 貸 方	当 期 残 高	対 売 上 比
3 . 雑 収 入	0	0	1,000,073	1,000,073	100.00
当 期 収 入 合 計	0	0	1,000,073	1,000,073	100.00
収 入 合 計	0		1,000,073	1,000,073	100.00
雑 費	0	270,000	0	270,000	27.00
当 期 支 出 合 計	0	270,000	0	270,000	27.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		730,073	730,073	73.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		730,073	730,073	73.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		730,073	730,073	73.00
当 期 収 支 差 額	0		730,073	730,073	73.00

残 高 試 算 表 (月 次 ・ 期 間)

4 頁

損益計算書

Ⅳ稲盛財団基金事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日(決算仕訳を含む)

単位：円

勘 定 科 目	前 期 繰 越	期 間 借 方	期 間 貸 方	当 期 残 高	対 売 上 比
3 . 雑 収 入	0	0	255	255	100.00
当 期 収 入 合 計	0	0	255	255	100.00
収 入 合 計	0		255	255	100.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		255	255	100.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		255	255	100.00
次 期 繰 越 金 合 計	0		255	255	100.00
当 期 収 支 差 額	0		255	255	100.00

残高試算表（月次・期間）

1 頁

損益計算書

V大阪大学委託事業

一般社団法人 日本応用数理学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

単位：円

勘定科目	前期繰越	期間借方	期間貸方	当期残高	対売上比
5. 受託事業	0	0	550,000	550,000	100.00
当期収入合計	0	0	550,000	550,000	100.00
収入合計	0		550,000	550,000	100.00
その他人件費	0	230,000	0	230,000	41.82
事業会議費	0	32,000	0	32,000	5.82
事業会場費	0	288,000	0	288,000	52.36
当期支出合計	0	550,000	0	550,000	100.00
次期繰越金合計	0		0	0	0.00
次期繰越金合計	0		0	0	0.00
次期繰越金合計	0		0	0	0.00
当期収支差額	0		0	0	0.00

2019年度 雑収入一覧

入金日	内 容	金 額	支払元
2019/5/20	著者抄録使用料	1,296	科学技術振興機構
2019/5/23	応用数理ハンドブック印税	207,360	朝倉書店
2019/7/18	シリーズ応用数理6印税	44,615	共立出版
2019/8/13	ストラング計算理工学印税	95,390	近代科学社
2019/8/20	著者抄録使用料	1,296	科学技術振興機構
2019/9/30	応用数理販売	4,670	ニコン株式会社
2019/11/20	著者抄録使用料	880	科学技術振興機構
2019/12/26	複製使用料	80,700	学術著作権協会
2020/2/20	著者抄録使用料	880	科学技術振興機構
	受取利息	2,141	
	合 計	439,228	

2019年度 未払い金一覧

支払日	内 容	金 額	支払先
	学会誌印刷製本費(PDF作成)	8,800	(株)三秀舎
	学会誌委託費(j-stageアップロード)	40,700	(株)三秀舎
	論文誌委託費(j-stageアップロード)	44,000	(株)三秀舎
	応用数理30-1購入費(請求もれ分)	545,600	岩波書店
	JJIAM購入費	270,000	シュプリンガー
	合 計	909,100	

2019年度 未収金・立替金一覧

領収日	内 容	金 額	請求先
	論文誌掲載料(2件分)	80,000	
	応用数理30-1編集料	55,000	
	研究部会連合発表会参加費	1,000	
	合 計	136,000	

一般社団法人 日本応用数理学会
代表理事 岡本 久様

2019(令和2)年度 税務監査報告書

2019(令和2)年度の会計につき税務監査の結果を以下の通りご報告いたします。

年 度：第8期、自2019(平成31)年4月1日至2020(令和2)年3月31日

実施日：2020(令和2)年5月20日(水)

方 法：原始資料との突合、預貯金残高の検証、帳表類の保管状況の確認など

結 果：領収書や請求書などの原始資料が月別かつ日毎に整理されています。

日々の金銭による収支は複式簿記により適切に処理されています。

預貯金残高は金融機関発行の残高証明書の金額と合致しています。

資産負債の細目及び内訳を確認しました。

意 見：

1. 当期の特徴

当期の会費収入は1,847万円で前年とほぼ変わらずです。一方、事業収入は547万円で700万円減収です。主な原因は前年にあった寄付金収入が当期にはなかったためです。また、予算にはない大阪大学の委託事業がありました。

2. 国際交流事業積立金と剰余金

国際交流事業への預金の振替とロゴ製作費の支出がありましたので、その分の剰余金を振替えています。

2020(令和2)年5月28日(木)
税理士法人 芝田会計事務所
担当 山崎 美穂
東京都世田谷区駒沢1丁目17番17号
真成ビル8F
TEL03-3412-9515

監査報告書

一般社団法人日本応用数理学会
会長 岡本久 殿

2020年5月21日

一般社団法人日本応用数理学会

監事 内山 成憲

監事 梅田 裕平

私たちは、2019年4月1日から2020年3月31日までの会計年度における監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 業務報告の内容は正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または定款により指摘すべき事項はないと認める。

以上

一般社団法人 日本応用数理学会 2020（令和2）年度事業計画（案）

本学会は2020（令和2）年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）下記のとおり事業を行う予定である。

1. 会誌「応用数理」の刊行（6月，9月，12月，3月）
2. JSIAM Online Magazine の編集・公開
3. 電子版「日本応用数理学会論文誌」の刊行（6月，9月，12月，3月）
4. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集
5. JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行
6. 出版
 - ・シリーズ・応用数理 第7巻の出版準備
7. 年会の開催
 - ・令和2年9月8日～9月10日（於：愛媛大学城北キャンパス）
8. 研究部会の育成促進
 - ・研究部会連合発表会（於：法政大学小金井キャンパス）の開催
9. 各種委員会活動の推進
10. 国際活動
 - ・International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)への貢献および海外の応用数理関連学会との交流，協力の推進
 - ・ICIAM2023 の開催に向けた準備活動
 - ・JSIAM 国際シンポジウムの開催に向けた準備活動
 - ・稲盛財団基金積立金の適切な運用による，国際的に活動する女性研究者の支援
11. 応用数理関連他学会との交流の推進
12. 会員・賛助会員の増強に向けたサービス向上とコミュニティーの拡大
13. 表彰
 - フェローの任命，業績賞，論文賞（和文論文誌，JJIAM，JSIAM Letters），学会誌ベストオーサー賞，年会若手優秀講演賞・ポスター賞，研究部会連合発表会優秀講演賞の表彰および各種日本応用数理学会賞等の立ち上げの検討
14. 若手層・女性研究者の学会参加の促進
15. 産業界・社会との交流促進と連携強化
16. 数理科学振興の政策課題の検討
17. その他

以上

2019年度決算と2020年度予算案

I 収入の部

(単位:円)

科目	2019予算	2019決算	2020予算案	備考
1. 会費・入会金収入	18,902,500	18,474,150	19,000,000	
正会員会費	16,000,000	15,435,150	16,000,000	
学生会員会費	500,000	528,000	500,000	
入会金	40,000	61,000	50,000	
賛助会費	2,362,500	2,450,000	2,450,000	
2. 事業収入	4,667,500	7,028,728	4,720,000	
応用数理編集料	216,000	219,000	220,000	
論文誌掲載料	600,000	560,000	600,000	
JSIAM-Letters収入	0	0	0	
年会収入	2,500,000	3,187,500	2,500,000	
セミナー収入	600,000	570,000	600,000	
研究部会収入	600,000	503,000	500,000	
委託事業費	0	550,000	0	
雑収入	151,500	1,439,228	300,000	
当期収入合計(A)	23,570,000	25,502,878	23,720,000	
前期繰越金	10,654,638	10,654,638	14,898,459	
過年度繰越金差額		2,067,866		*1
国際交流事業積立金(簿外)へ移し替え		-1,000,000	-1,000,000	*2
収入合計(B)	34,224,638	37,225,382	37,618,459	

*1 法人化以前に発生

*2 2019年度繰越金より

2019年度決算と2020年度予算案つづき

Ⅱ 支出の部

(単位:円)

科目	2019予算	2019決算	2020予算案	備考
I. 事業費支出	4,569,000	3,327,622	4,529,000	
応用数理刊行事業費	237,000	216,200	237,000	
印刷製本費(委託費)	200,000	196,200	200,000	
会議費	35,000	20,000	35,000	
雑費	2,000	0	2,000	
論文誌刊行事業費	422,000	354,519	382,000	
委託費	400,000	354,519	360,000	
会議費	20,000	0	20,000	
雑費	2,000	0	2,000	
JSIAM Letters刊行事業費	110,000	79,700	110,000	
会議費	60,000	28,000	60,000	
雑費(委託費)	50,000	51,700	50,000	
年会事業費	2,500,000	2,264,386	2,500,000	
印刷製本費(委託費)		347,473		
通信運搬費		0		
会議費		965,819		
其他人件費		342,000		
消耗品費		7,640		
会場費		288,000		
雑費		313,454		
セミナー事業費	500,000	174,689	500,000	
其他人件費		0		
会議費		0		
旅費交通費		45,056		
会場費		29,400		
講師謝礼金		100,233		
雑費		0		
研究部会事業費	800,000	238,128	800,000	
其他人件費		42,274		
会議費		53,922		
諸謝金		9,828		
印刷製本費		25,200		
会場費		25,344		
通信運搬費		53,640		
雑費		27,920		
II. 管理費支出	18,582,208	18,268,973	18,980,000	
給料手当	3,450,000	3,095,260	3,400,000	
応用数理購入費	5,875,200	5,929,600	5,930,000	
JJIAM購入費	300,000	270,000	300,000	
活動促進費	150,000	77,682	100,000	男女共同参画等
関連団体等会費	150,000	154,198	150,000	
保守費	500,000	865,055	900,000	会員システム利用料等
事務委託費	4,500,000	4,497,513	4,500,000	
委託費	3,000,000	3,047,929	3,000,000	
印刷製本費	500,000	501,862	500,000	
通信運搬費	1,000,000	947,722	1,000,000	
会議費	200,000	94,499	200,000	
事務局運営費	3,257,008	3,107,166	3,300,000	
賃借料	1,747,008	1,782,984	1,790,000	
福利厚生費	30,000	10,174	30,000	
旅費交通費	500,000	349,360	500,000	
通信運搬費	300,000	197,443	250,000	
什器/備品費	200,000	0	200,000	
コンピュータリース料金	180,000	174,799	180,000	
消耗品費	150,000	132,915	150,000	
雑費	150,000	459,491	200,000	
法人関連経費	200,000	178,000	200,000	
当期支出合計(C)	23,151,208	21,596,595	23,509,000	
当期収支差額(A-C)	418,792	3,906,283	211,000	
国際交流事業剰余金へ振替		-730,073		
稲盛財団基金剰余金へ振替		-255		
次期繰越金(B-C)	11,073,430	14,898,459	14,109,459	

一般社団法人 日本応用数理学会

2020 年度 定時社員総会

参考資料

目次

役員の退任と留任	2
選挙結果	3
学会誌編集委員会	5
論文誌編集委員会	6
JSIAM Letters 編集委員会	7
国際活動委員会	8
表彰委員会	10
ネットワーク委員会	12
出版委員会	14
規程類の整備について	16

2020（令和 2）年 6 月 26 日

一般社団法人 日本応用数理学会

一般社団法人 日本応用数理学会
退任・留任する役員の名簿

一般社団法人 日本応用数理学会では、理事・監事の任期が2年と定められております。

2020年度定時社員総会終了時に退任または辞任する理事・監事（重任予定者を含む）は以下の通りです。

理事 9 名

今井 隆太	國府 寛司（副会長）
櫻田 英樹	田辺 隆人
時弘 哲治	松尾 宇泰
森山 園子	山中 脩也
横張 孝志（副会長）	

監事 1 名

梅田 裕平

また、2019年度から2020年度にかけて留任する理事・監事は以下の通りです。

理事 11 名

石村 直之	岡澤 健介
岡本 久（会長）	神山 雅子
櫻井 鉄也（副会長）	関川 浩
土屋 卓也	直野 健
中口 悦史	降旗 大介
丸野 健一	

監事 1 名

内山 成憲

以上

2020 年 3 月 27 日

一般社団法人 日本応用数理学会 選挙管理委員会

山本有作, 田中健一郎, 相島健助

一般社団法人 日本応用数理学会 2020 年度 代表会員選挙ならびに役員候補者選挙 選挙結果

投票総数と投票の成立

2020 年 3 月 23 日に開票を行い, 正会員数 1397 名 (2019 年 11 月末時点) に対し期日 (2020 年 3 月 16 日) までの投票総数が 378 票であり, そのすべてが有効投票の要件を満たしていることを確認しました. 有効投票数が全体の 6 分の 1 以上であり, 選挙規定第 13 条に基づき投票が成立することを宣言いたします.

投票結果

下記に示す投票結果にしたがい, 今回の立候補者全員が信任され, 代表会員 120 名が当選しました. 総会では, 今回の選挙結果を尊重して, この代表会員による役員選挙が行われ, 役員が決定されます.

表 1 投票結果

投票の内訳	
立候補者全員を信任する	374 票
信任しない立候補者がいる	4 票
無効票	0 票
合計有効投票数	378 票
無効投票数	0 票

当選者一覧

[1] 役員候補者

副会長候補者 2 名 (改選数 2)

今関 修 (鹿島建設 (株))

梶原 健司 (九州大学)

監事候補者 1 名 (改選数 1)

尊田 嘉之 (AGC (株))

理事候補者 9 名 (改選数 9)

今関 修 (鹿島建設 (株))

梶原 健司 (九州大学)

荻田 武史 (東京女子大学)

齊藤 宣一 (東京大学)

佐藤 大輔 (日本電信電話 (株))

田辺 隆人 ((株) NTT データ数理システム)

永井 敦 (津田塾大学)

森山 園子 (日本大学)

山中 脩也 (明星大学)

[2] 代表会員 120 名

合原 一幸 (東京大学)

畔上 秀幸 (名古屋大学)

石田 祥子 (明治大学)

石渡 恵美子 (東京理科大学)

石渡 通徳 (大阪大学)

井手 貴範 (エクス・リサーチ (株))

伊藤 聡 (統計数理研究所)

井上 啓 (山陽小野田市立山口東京理科大学)

今井 桂子 (中央大学)

今倉 暁 (筑波大学)

今村 俊幸 ((国研) 理化学研究所)

岩田 覚 (東京大学)

秋山 浩一郎 ((株) 東芝)

石井 恵三 ((株) くいと)

石村 直之† (中央大学)

石渡 哲哉 (芝浦工業大学)

磯 祐介 (京都大学)

伊藤 聡 ((国研) 物質・材料研究機構)

伊藤 弘道 (東京理科大学)

井ノ口 順一 (筑波大学)

今井 隆太 (みずほ情報総研 (株))

今関 修† (鹿島建設 (株))

岩崎 雅史 (京都府立大学)

内山 成憲† (首都大学東京)

梅田 裕平 ((株) 富士通研究所)
 岡澤 健介† (日本製鉄 (株))
 岡本 久† (学習院大学)
 荻田 武史† (東京女子大学)
 奥田 昌宏 (キヤノン (株))
 尾崎 克久 (芝浦工業大学)
 梶原 毅 (岡山大学)
 片桐 孝洋 (名古屋大学)
 金児 純司 ((株) 富士通研究所)
 河合 孝純 (日本電気 (株))
 儀我 美一 (東京大学)
 岸本 一男 (筑波大学名誉教授／東京理科大学)
 倉橋 貴彦 (長岡技術科学大学)
 國府 寛司 (京都大学)
 齊藤 宣一† (東京大学)
 櫻井 鉄也† (筑波大学)
 佐古 和恵 (日本電気 (株))
 佐藤 大輔† (日本電信電話 (株))
 代田 健二 (愛知県立大学)
 杉山 将 ((国研) 理化学研究所／東京大学)
 鈴木 貴 (大阪大学)
 関川 浩† (東京理科大学)
 善甫 康成 (法政大学)
 尊田 嘉之† (AGC (株))
 高島 克幸 (三菱電機 (株))
 高橋 桂子 ((国研) 海洋研究開発機構)
 高橋 俊彦 ((株) カジマアイシーティ)
 田辺 隆人† ((株) NTT データ数理システム)
 塚田 恭章 (関東学院大学)
 土屋 卓也† (愛媛大学)
 友枝 明保 (武蔵野大学)
 永井 敦† (津田塾大学)
 中島 研吾 (東京大学)
 中村 佳正 (京都大学)
 奈良 高明 (東京大学)
 西村 直志 (京都大学)
 速水 謙 (国立情報学研究所)
 藤田 景子 (富山大学)
 堀之内 成明 ((株) 豊田中央研究所)
 松尾 宇泰 (東京大学)
 丸野 健一† (早稲田大学)
 村松 正和 (電気通信大学)
 森口 聡子 (首都大学東京)
 谷口 隆晴 (神戸大学)
 山田 道夫 (京都大学)
 山本 野人 (電気通信大学)
 横張 孝志 ((株) 日立製作所)
 吉村 和之 (鳥取大学)

大石 進一 (早稲田大学)
 緒方 隆盛 (日本電気 (株))
 小川 知之 (明治大学)
 奥田 洋司 (東京大学)
 奥富 秀俊 (東芝情報システム (株))
 梶原 健司† (九州大学)
 片岡 一朗 ((株) 日立製作所)
 片峯 英次 (岐阜工業高等専門学校)
 神山 雅子† ((公財) 鉄道総合技術研究所)
 川原 仁志 (伊藤忠テクノソリューションズ (株))
 菊池 昇 ((株) 豊田中央研究所)
 久保田 光一 (中央大学)
 桑原 善太 (三菱 UFJ 証券ホールディングス (株))
 小机 わかえ (神奈川工科大学)
 坂上 貴之 (京都大学)
 櫻田 英樹 (日本電信電話 (株))
 佐々木 多希子 (茨城工業高等専門学校)
 篠原 靖志 ((一財) 電力中央研究所)
 杉山 文子 (京都大学)
 鈴木 大慈 (東京大学)
 須田 礼仁 (東京大学)
 関根 順 (大阪大学)
 曾我部 知広 (名古屋大学)
 高木 剛 (東京大学)
 高田 章 (ロンドン大学)
 高橋 大輔 (早稲田大学)
 多田野 寛人 (筑波大学)
 張 紹良 (名古屋大学)
 土谷 隆 (政策研究大学院大学)
 時弘 哲治 (東京大学)
 直野 健† ((株) 日立製作所)
 中口 悦史† (東京医科歯科大学)
 中村 振一郎 ((国研) 理化学研究所)
 長山 雅晴 (北海道大学)
 西浦 廉政 (北海道大学名誉教授)
 萩田 真理子 (お茶の水女子大学)
 福田 亜希子 (芝浦工業大学)
 降旗 大介† (大阪大学)
 松尾 和人 (神奈川大学)
 松本 純一 ((国研) 産業技術総合研究所)
 村重 淳 (茨城大学)
 室田 一雄 (首都大学東京)
 森山 園子† (日本大学)
 柳田 英二 (東京工業大学)
 山中 脩也† (明星大学)
 由良 文孝 (公立はこだて未来大学)
 吉田 真紀 ((国研) 情報通信研究機構)
 渡邊 芳英 (同志社大学)

††2020 年度役員 († 非改選役員 12 名, † 改選役員候補 10 名)

学会誌編集委員会 2019（平成 31）年度 活動報告

編集委員長 関川 浩

1. 概要

学会誌「応用数理」は年 4 冊刊行，会員には無料配布されている。

学術的記事から気軽に読めるコラムまで幅広い内容を収録しており，会員のみならず広く応用数理に興味を持つ読者に対して，高水準の情報を提供している。

刊行後 4 ヶ月以上経過すると，応用数理の本文が J-Stage にてオープンアクセスとなっている。

2. 発刊実績

2019（平成 31・令和元）年度（2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで）の発刊実績は，

第 29 巻 2 号（6 月），3 号（9 月），4 号（12 月）

第 30 巻 1 号（3 月）

の 4 号である。総ページ数は 192 ページであった。

3. その他

定期的に編集会議が行われており，2019 年度は通算第 238 回から第 245 回まで 8 回開催された。開催場所は，東京大学本郷キャンパス（6 回），東京大学駒場キャンパス（年会開催時），Skype ミーティング（研究部会中止のため）であった。

論文誌編集委員会 令和元(2019)年度 活動報告

編集委員長 山本有作 (担当理事 松尾宇泰)

1. 概要

日本応用数理学会論文誌（以下、論文誌）は、原著論文（理論、応用、実用、ノート）およびサーベイ論文を要する和文の論文誌である。応用数理全般にわたる各分野からの投稿を奨励し、厳正な査読プロセスを経た論文が刊行される。1991年3月に第1巻1号を発刊以来、毎年1巻4号を発刊しており、2020年3月で第30巻1号となる。第25巻までは冊子体で発行され、第26巻からはJ-Stage上の電子ジャーナルとなった。また第25巻までのバックナンバーもすべてJ-Stage上に移行が完了している。

2. 発刊実績

令和元(2019)年度に第29巻2,3,4号および30巻1号を発刊した。各部門の論文数の内訳は以下のとおりである。

原著論文（理論4編、応用5編、実用3編、ノート1編）（うち特集号論文1件）

掲載論文数の安定を図るため2012年度より研究部会の特集を復活し、今後も継続的に特集を組むことを予定している。令和元年度は、「科学技術計算と数値解析」研究部会のご協力を得て特集を企画した。本特集の論文は、令和2年度にかけて掲載される予定である。

3. その他

令和元年度論文賞は、理論・ノート・サーベイ部門から1編ずつ計3編が選ばれた。

残念ながら（特集以外の一般の）投稿が伸び悩む傾向は続いており、引き続き研究部会への依頼に基づく特集号の編成を検討する。また、サーベイ論文の拡充のため、編集委員会からの依頼論文について掲載料を免除する新規定を理事会にご認可頂き、現在、同規定に基づき1篇のサーベイ論文執筆を依頼している。しかしながら、今日における日本語論文誌の位置づけ自体を含めて、根本的な戦略の練り直しが必要であると思われる。

論文誌編集委員会は、編集システムおよび掲載システムの全電子化に伴い、対面委員会を廃止し、必要に応じて電子的に委員会を開く格好をとっている。これにより、関東近郊に限られず全国広いエリアから編集委員を柔軟に採用できるメリットが得られ、その帰結として編集委員会全体として従前よりも適切に広い応用数学分野をカバーできている。他方で、論文誌の方向性など根本的なことについて議論する場は（電子的なものを除いて）なくなっているため、今後、年会時の対面委員会開催などを検討していく可能性がある。

JSIAM Letters 編集委員会 2019 年度 活動報告

編集委員長 降旗 大介 (大阪大学)

1. 概要

JSIAM Letters は 2009 年に創刊された日本応用数理学会の英文電子ジャーナルである。科学技術振興機構 (JST) が運営する科学技術情報発信・流通総合システム J-STAGE 上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsiaml>) に公開されている。編集委員会は、編集委員長 (1 名)、副編集委員長 (2 名)、幹事編集委員 (6 名)、英文担当 (2 名) および研究部会から推薦された 53 名の編集委員で構成されている。

英文 TeX 原稿で A4 版 2 段組み 4 ページ以内を原則とする。年会、研究部会連合発表会および研究部会主催・共催の研究集会で講演されたことを投稿の条件とする。著者の少なくとも 1 名が日本応用数理学会の会員であれば掲載料 (投稿料) は無料、そうでない場合は 20,000 円を求める。1 ヶ月以内に査読、6 週間以内に採否を通知することを原則としている。

2015 年度から論文賞 (JSIAM Letters 部門) が新設された。賞設立後の過渡期である初回の 2015 年度は第 1 巻から第 3 巻を、第 2 回目の 2016 年度は第 4 巻から第 6 巻を、第 3 回目の 2017 年度は第 6 巻から 8 巻までを、第 4 回目の 2018 年度は第 7 巻から 9 巻までを、第 5 回目の 2019 年度は第 8 巻から 10 巻までを対象とし、それぞれ 3 編、3 編、1 編、2 編および 2 編の論文を選出した。

2. 発刊実績

3 月の研究部会連絡会と 9 月の年会において開催される編集委員会に合わせて投稿数と査読結果を集計している。2020 年 2 月までの集計結果は次の表のとおりである。

期間	投稿数	採録数	不採録数	査読中	査読日数
2017.9 – 2018.8	24	19	5	0	55.8
2018.9 – 2019.8	23	18	5	0	20.5
2019.9 – 2020.2	12	8	2	2	19.0

なお、近年 5 年間の掲載年別の Volume における掲載論文数は次のとおりである。

Vol.7 20 編 80 ページ
Vol.8 21 編 84 ページ
Vol.9 21 編 84 ページ
Vol.10 20 編 80 ページ
Vol.11 20 編 80 ページ

以上。

国際活動委員会 令和元年度 活動報告

委員長 國府寛司

1. 概要

国際活動委員会は、日本応用数理学会の国際的な活動に関する様々な事業を行うための企画立案や提案、実施に向けた準備とその実績の評価や改善のための検討などを行い、当学会の国際的な活動を促進することを目的とする。

2. 令和元年度の主な取組とその成果

(A) 海外の SIAM 関連学会との連携

1) ICIAM 2019 Valencia で JSIAM, CSIAM, KSIAM の3学会が共同で、以下のような3つの CJK-joint minisymposium を開催した（カッコ内はオーガナイザ）：

CJK joint mini-symposium on Cryptography (Katsuyuki Takashima)

CJK joint mini-symposium on Inverse Problem (Gang Bao)

CJK joint mini-symposium on Mathematical Biology (Jaekyoung Kim)

また、7月17日には3学会合同のランチミーティングも開催し、合計で24名が参加した。

2) 第14回 EASIAM (East-Asia Section of SIAM) Conference が、2019年6月13日～16日に中国の武漢大学で開催された。EASIAM は2018-2019は松尾宇泰氏（東大）が President, 藤原宏志氏（京大）が Secretary を務めている。

(B) ICIAM 2023 東京開催準備

ICIAM 2023 組織委員会（大石進一大会委員長、岡本久副委員長）を中心に開催準備が行われている。東京観光財団から 3000 万円の財政支援が得られた。

ICIAM 2019 Valencia では、閉会式に大石委員長が招致演説を行った。また、その会期中に、東京観光財団の協力により ICIAM 2023 Tokyo の宣伝をメインとした JSIAM ブースを開設した。ブースには手すきの JSIAM 会員にも来てもらい、チラシの配布などを手伝っていただいた。

(C) JSIAM 国際シンポジウムについて

日本応用数理学会創立 30 周年を機に、JSIAM の国際的活動を海外に示すと共に、近隣や欧米の関係学会との交流の場とする国際シンポジウムを 2020 年 11 月に明治大学・先端数理科学インスティテュート (MIMS) を会場として開催することを提案し、理事会で承認され、開催準備を開始した。

（補足）その後、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、開催を 1 年延期することが理事会で了承された。

3. ICIAM 2019 Valencia および ICIAM Board Meeting 2019 の報告

(A) ICIAM 2019 Valencia について

ICIAM 2019 は 2019 年 7 月 15 日から 19 日まで、スペインの Valencia 大学で開催された。総参加者数は 3984 人、うち日本からの参加者数は 178 人（参加国中で 8 番目に多い）。27 の招待講演、5 つの ICIAM Prize Lectures と OTT Lecture を含む 3600 強の講演が行われ、日本からは水藤寛氏（東北大）と佐古

和恵氏 (NTT) が招待講演を行った。パラレルセッションは最大で 90 であった。

開会式は、予定会場の水漏れのため別会場が急遽、変更となったが、スペイン国王の臨席のもと、予定どおり開催された。閉会式では大石進一氏 (ICIAM 2023 大会委員長) が招致演説を行った。

(B) ICIAM Board Meeting 2019 開催報告

ICIAM 2019 Valencia に引き続き、令和元年 7 月 20 日にスペインのヴァレンシア市において、ICIAM Board Meeting 2019 が開催された。その議事から重要事項 4 件を報告する。

1) ICIAM President の交代, Officers の改選

ICIAM President が 10 月から Ya-Xiang Yuan (中国) に交代した

任期満了により、Officers の改選が行われ、以下の人々が新 Officers に選出された：

Secretary : Sven Leyffer (米国, 重任)

Treasurer : Heike Fassbender (ドイツ, 新任)

Officers-at-Large : Wil Schilders (オランダ, 新任), Luis Vega (スペイン, 新任)

2) OTT (Olga-Tausky Todd) Lecture への JSIAM からの支援

稲盛財団の寄付を受けて、OTT Lecture の賞金を US\$ 5,000 (他の ICIAM Prizes と同額) に増額することを決定した。これにより 2023 年から 2043 年までの 6 回分の賞金が確保される。その後は MathWorks と COMSOL の寄付を運用して継続できる見通しである

3) ICIAM への新規加盟と脱退について

Chilean Applied Math Society (チリ応用数理学会, SMAIS-Chile), South African Mathematical Society (南アフリカ数学会, SAMS), Colombian Math Society (コロンビア数学会, SCM) の加盟が承認された。それぞれ small-full, small-associate, small-associate になる。

また、ICIAM に参加する会員がごく少ないという理由で、Italian Operations Research society (イタリアオペレーションリサーチ協会, AIRO) が ICIAM を脱退することになった。

4) ICIAM Dues (加盟費) の値上げ

ICIAM Dues の値上げが承認され、JSIAM を含む large full society は 780 \$ から 800 \$ となった。

表彰委員会 2019（平成 31）年度 活動報告

表彰委員長 國府 寛治

1. 概要

日本応用数理学会には以下の内部表彰があります。

- (1) 日本応用数理学会論文賞（日本応用数理学会論文誌、JJIAM、および JSIAM Letters）
- (2) ベストオーサー賞（学会誌「応用数理」）
- (3)（年会）若手優秀講演賞（当該年 4 月 1 日現在で 35 歳未満の講演者が対象）
- (4)（年会）優秀ポスター賞（当該年 4 月 1 日現在で 35 歳未満の講演者が対象）
- (5) 研究部会連合発表会優秀講演賞（2019 年度は連合発表会の開催は中止。）
- (6) 日本応用数理学会業績賞

本年度、表彰委員会は規定に従って年会ポスター賞および研究部会連合発表会を除く各賞の選考委員を理事会に提案し、選考委員会による選考結果を理事会に上程いたしました。上程した候補はすべて理事会で認められ、受賞の運びとなりました。年会優秀ポスター賞については年会実行委員会により決定され、研究部会連合発表会は今年度は開催が中止されました。

これらに加え、例年通り、理事会を通じ、外部賞への会員の推薦も行いました。

2. 表彰実績

(1) 日本応用数理学会論文賞

選考委員会の推薦に基づき 2016 年 1 月（第 26 巻第 1 号）から 2018 年 12 月（第 28 巻 4 号）の『日本応用数理学会論文誌』および JJIAM に発表された論文の中から計 4 編を論文賞候補に選定しました。さらに、JSIAM Letters の 2016 年（第 8 巻）から 2018 年（第 10 巻）に発表された論文の中から 2 編を論文賞候補に選定しました。

① 理論部門

佐藤 寛（京都大学）、相原 研輔（東京都市大学）「グラスマン多様体上の商構造を用いたニュートン法」（日本応用数学会論文誌 2018, Vol.28, No.4, pp.205-241）

② ノート部門

米山 涼介（東京理科大学）、相原 研輔（東京都市大学）、石渡 恵美子（東京理科大学）「CGS 系の反復法に対する近似解精度の改善に向けたスムージング技術の再考」（日本応用数理学会論文誌 2018, Vol.28, No.1, pp.18-38）

③ サーベイ部門

藤ノ木 健介（東海大学）「リフティングスキームによるウェーブレットの構成法」（日本応用数理学会論文誌 2018, Vol.28, No.2, pp.72-133）

④ JSIAM Letters 部門

Daisuke Kurashiki (Aichi Prefectural University), Kenji Shiota (Aichi Prefectural University)
“ H^2 gradient method for the coefficient identification problem in a partial differential equation”
(JSIAM Letters Vol.10 (2018) pp.37-40)

Wares Chancharoen (Nagoya University), Hideyuki Azegami (Nagoya University)

“Shape optimization for a linear elastic fish robot”

(JSIAM Letters Vol.10 (2018) pp.65-68)

⑤ JJIAM 部門

Masahisa Tabata (Waseda University), Shinya Uchiumi (Waseda University)

“A genuinely stable Lagrange–Galerkin scheme for convection-diffusion problems”

(Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics 2016, Vol.33, pp.121—143)

Wataru Shimizu (The University of Tokyo), Yoshihiro Kanno (The University of Tokyo)

“Accelerated proximal gradient method for elastoplastic analysis with von Mises yield criterion”

(Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics 2018, Vol.35, pp.1—32)

(2)ベストオーサー賞

選考委員会の推薦に基づき 2016 年 7 月（第 25 巻第 1 号）から 2018 年 12 月（第 28 巻 3 号）の学会誌『応用数理』に発表された論文、インダストリアルマテリアルズの中からベストオーサー賞候補 2 編を理事会に上程しました。

①論文部門

鈴木 大慈（東京大学）「ベイズ法を用いた高次元テンソル推定」（応用数理 2017, Vol.27, No.3, pp.7-14）

②インダストリアルマテリアルズ部門

斉藤 一哉（東京大学），五島 庸（城山工業株式会社），王 麗君（東京大学），岡部 洋二（東京大学）「折紙の数理を応用したハニカム構造材料の新しい製造法」（応用数理 2018, Vol.28, No.1, pp.26-31）

(3)（年会）若手優秀講演賞

南畑 淳史（中央大学）「非対称疎行列を係数とする連立一次方程式に対する精度保証付き数値計算の数値的比較」

立岡 文理（名古屋大学）「行列実数乗の計算に対する数値積分法のための前処理について」

松家 敬介（武蔵野大学）「離散 Gray-Scott モデルの時空パターンと平衡解の Turing 不安定性」

佐竹 翔平（神戸大学）「On pseudo-randomness of digraphs and ranking tournaments」

橋本 侑知（東京大学）「超特異性判定アルゴリズムの効率化とその暗号応用」

(4)（年会）優秀ポスター賞

長瀬 准平（芝浦工業大学/ZOZO Research）「ファッションコーディネート選択と集合特徴量」

松永 玲香（お茶の水女子大学）「自動運転車の特徴を考慮したセルオートマトンモデル」

小西 沙織（同志社大学）「3 値 3 近傍 CA のファジー化と 1 次保存則を満たすルールの数え上げ」

(5)日本応用数学会業績賞

室田 一雄（首都大学東京）「離散凸解析の研究」

3. 外部推薦

平成 31 年度は、3 件（東レ科学技術賞 1 件、日本学術振興会賞 2 件）の外部推薦を行いました。

ネットワーク委員会 2019（平成 31）年度 活動報告

ネットワーク委員長 山中 脩也

1. 概要

ネットワーク委員会は、Web やメールなどの当学会におけるネットワーク関連の実務を担当ないしは支援することにより、当学会の活動をより円滑にすることを目的とする。

2. 主たる業務

ネットワーク委員会の主たる業務は以下のものである。

(a) 当学会 Web の維持，更新。

Web における主な内容は以下の通り。

- i. 定款等の各種規程，理事等運営情報の準静的情報の提供。
- ii. 学会からの通知，各種研究集会，人事情報等の動的情報提供。
- iii. 上記動的情報の投稿受付。
- iv. 上記投稿されたもののうち、共催・協賛等判断の不要な情報についての掲載の可否の判断。
- v. 会員の新規入会受付。この情報は入会担当部署へそのまま渡される。
- vi. 論文誌の Web での掲載（CiNii から J-STAGE への移行期間のみ）。
- vii. 会員向け情報発信のためのメーリングリスト（下記）情報更新受付。この情報に基づき、メーリングリストを適宜更新。
- viii. JSIAM Online Magazine (JOM)の投稿・公開システムの管理。
- ix. JSIAM 会合システムの管理。年会や研究部会連合発表会の Web ページのサポート。

(b) メーリングリストを用いた，学会員向け情報の発信（週 1 回の頻度）。

(c) 理事会等、学会運営用各種メーリングリストの管理。現在、約 60 のメーリングリストを管理中。

(d) Web，メール用サーバの維持管理。2020（令和 2）年 6 月現在，Web サーバは Amazon Web Service (AWS) 及び大阪大学に設置してあるサーバを利用している。メールサーバは，G Suite (by Google Inc.) を利用している。

(e) ネットワークドメイン jsiam.org の維持管理。DNS サーバは Dotster を利用している。

(f) その他，ネットワークに関する実務：緊急時会員向けメールの送信等。

(g) ICIAM の Web サーバの管理。

(h) ICIAM2023 の Web サーバの管理。

3. 2019 年度実績

上記の主たる業務を恒常的に遂行している。2019（平成 31）年 4 月に大規模な通信障害が、同 9 月にはドメイン障害が発生し、Web の閲覧・更新ができない状況が発生したが、その後、サーバの移設とセキュリティ強化を実施し、復旧した。また、学会の主要サイトにて常時 SSL 化を設定した。引き続き、サーバの安定運用とセキュリティ強化を推進する。

4. 2019（平成 31）年度ネットワーク委員会構成メンバー

委員長 山中脩也（明星大学）

委員 降旗大介（大阪大学）

萩田武史（東京女子大学）

関根晃太（東洋大学）

※ 2020（令和 2）年度は、下記の今後の課題の解決に向け、2 名の委員を追加予定である。

5. 今後の課題について

ネットワーク委員会における今後の課題として以下のものがある。

- (a) Web サーバの統合による Web 利用時の便宜向上。
- (b) 会員情報の Web による更新。
- (c) 学会費支払い等、煩雑な手続きの支援。
- (d) Twitter 等による迅速な広報の展開。

以上のうち、(b) (c)については、会員システム及び会合システム（2020（令和 2）年 6 月現在、構築中）によって実現可能となる予定である。

以上

出版委員会 2019（平成31・令和元）年度 活動報告

出版委員 直野健

1. 概要

出版委員会では、過去、シリーズ応用数理を6刊まで発刊し、2019年度は第7刊に向け活動を開始しました。

2. 発刊実績

2019（平成31・令和元）年度の発刊実績は特にございません。

3. 発刊準備

2020年度あるいは2021年度での第7刊発刊をめざし、政策研究大学院大学の大山達雄先生らの編集による「選挙と投票と社会の数理」（仮）につき、共立出版社と共に準備中です。現在、章立てがほぼ完成し、各著者の先生方が鋭意執筆中です。

4. その他

シリーズ応用数理のこれまでの発行実績は以下のとおりです。

(<https://www.kyoritsu-pub.co.jp/series/24/>)

シリーズ応用数理1巻 数理的技法による情報セキュリティ

日本応用数理学会 監修・萩谷 昌己・塚田 恭章編ページ

発行年月：2010年07月

シリーズ応用数理2巻 公開鍵暗号の数理

日本応用数理学会 監修・森山 大輔・西巻 陵・岡本 龍明著

発行年月：2011年03月

シリーズ応用数理3巻 折紙の数理とその応用

日本応用数理学会 監修・野島 武敏・萩原 一郎編

発行年月：2012年09月

シリーズ応用数理4巻 有限要素法で学ぶ現象と数理—FreeFem++数理思考プログラミング—

日本応用数理学会 監修・大塚 厚二・高石 武史著

発行年月：2014年02月

シリーズ応用数理5巻 応用のためのウェーブレット

日本応用数理学会 監修・山田 道夫・萬代 武史・芦野 隆一著

発行年月：2016年01月

シリーズ応用数理 6 巻 数値線形代数の数理と HPC

日本応用数理学会 監修・櫻井 鉄也・松尾 宇泰・片桐 孝洋編

発行年月：2018 年 08 月

以上

規定類の整備・改正の記録

総務・事務局担当理事 中口悦史

2019（平成 31・令和元）年度理事会において以下の規程類の整備・改正等を行いました。

- ・一般規程 令和元年 7 月 26 日改正

現状の理事分掌と委員会，および理事分掌の見直しを反映した。また「メッシュ生成・CAE」研究部会の「CAEモデリングとデータ活用」への名称変更を反映した。

- ・一般規程 令和 2 年 5 月 29 日改正

「学術委員会」および「幾何学的形状生成」研究部会の発足を反映した。

- ・研究部会規約 令和元年 9 月 27 日改定

研究部会活動費の見直しを行った。

- ・学術委員会規程 令和元年 11 月 29 日制定

本学会の学術に係わる重要事項について調査・助言・勧告・選出を行うことを目的として，学術委員会が発足することとなった。

以上

令和2年度代表会員 120名（定員122名）

合原	一幸	東京大学
秋山	浩一郎	(株)東芝
畔上	秀幸	名古屋大学
石井	恵三	(株)くいと
石田	祥子	明治大学
石村	直之	中央大学
石渡	恵美子	東京理科大学
石渡	哲哉	芝浦工業大学
石渡	通徳	大阪大学
磯	祐介	京都大学
井手	貴範	エクォス・リサーチ(株)
伊藤	聡	(国研)物質・材料研究機構
伊藤	聡	統計数理研究所
伊藤	弘道	東京理科大学
井上	啓	山陽小野田市立山口東京理科大学
井ノ口	順一	筑波大学
今井	桂子	中央大学
今井	隆太	みずほ情報総研(株)
今倉	暁	筑波大学
今関	修	鹿島建設(株)
今村	俊幸	(国研)理化学研究所
岩崎	雅史	京都府立大学
岩田	覚	東京大学
内山	成憲	東京都立大学
梅田	裕平	(株)富士通研究所
大石	進一	早稲田大学
岡澤	健介	日本製鉄(株)
緒方	隆盛	日本電気(株)
岡本	久	学習院大学
小川	知之	明治大学
荻田	武史	東京女子大学
奥田	洋司	東京大学
奥田	昌宏	キャノン(株)
奥富	秀俊	東芝情報システム(株)
尾崎	克久	芝浦工業大学
梶原	健司	九州大学
梶原	毅	岡山大学
片岡	一朗	(株)日立製作所
片桐	孝洋	名古屋大学
片峯	英次	岐阜工業高等専門学校
金児	純司	(株)富士通研究所
神山	雅子	(公財)鉄道総合技術研究所
河合	孝純	日本電気(株)
川原	仁志	伊藤忠テクノソリューションズ(株)
儀我	美一	東京大学
菊池	昇	(株)豊田中央研究所
岸本	一男	筑波大学名誉教授/東京理科大学
久保田	光一	中央大学
倉橋	貴彦	長岡技術科学大学
桑原	善太	三菱UFJ証券ホールディングス(株)
國府	寛司	京都大学
小机	わかえ	神奈川工科大学
齊藤	宣一	東京大学
坂上	貴之	京都大学
櫻井	鉄也	筑波大学
櫻田	英樹	日本電信電話(株)
佐古	和恵	日本電気(株)
佐々木	多希子	茨城工業高等専門学校
佐藤	大輔	日本電信電話(株)
篠原	靖志	(一財)電力中央研究所

代田	健二	愛知県立大学
杉山	文子	京都大学
杉山	将	(国研) 理化学研究所／東京大学
鈴木	大慈	東京大学
鈴木	貴	大阪大学
須田	礼仁	東京大学
関川	浩	東京理科大学
関根	順	大阪大学
善甫	康成	法政大学
曾我部	知広	名古屋大学
尊田	嘉之	A G C (株)
高木	剛	東京大学
高島	克幸	三菱電機(株)
高田	章	ロンドン大学/元AGC(株)
高橋	桂子	(国研)海洋研究開発機構
高橋	大輔	早稲田大学
高橋	俊彦	(株) カジマアイシーティ
多田野	寛人	筑波大学
田辺	隆人	(株) NTTデータ数理システム
張	紹良	名古屋大学
塚田	恭章	関東学院大学
土谷	隆	政策研究大学院大学
土屋	卓也	愛媛大学
時弘	哲治	東京大学
友枝	明保	武蔵野大学
直野	健	(株) 日立製作所
永井	敦	津田塾大学
中口	悦史	東京医科歯科大学
中島	研吾	東京大学
中村	振一郎	(国研)理化学研究所
中村	佳正	京都大学
長山	雅治	北海道大学
奈良	高明	東京大学
西浦	廉政	北海道大学名誉教授
西村	直志	京都大学
萩田	真理子	お茶の水女子大学
速水	謙	国立情報学研究所
福田	亜希子	芝浦工業大学
藤田	景子	富山大学
降旗	大介	大阪大学
堀之内	成明	(株)豊田中央研究所
松尾	和人	神奈川大学
松尾	宇泰	東京大学
松本	純一	(国研)産業技術総合研究所
丸野	健一	早稲田大学
村重	淳	茨城大学
村松	正和	電気通信大学
室田	一雄	東京都立大学
森口	聡子	東京都立大学
森山	園子	日本大学
谷口	隆晴	神戸大学
柳田	英二	東京工業大学
山田	道夫	京都大学
山中	脩也	明星大学
山本	野人	電気通信大学
山本	文孝	公立はこだて未来大学
由良	孝志	(株)日立製作所
横張	真紀	(国研)情報通信研究機構
吉田	和之	鳥取大学
吉村	芳英	同志社大学
渡邊		